

衛生科学センターの整備にかかるサウンディング型市場調査の結果概要について

1 実施の経緯

滋賀県衛生科学センターの移転建替整備事業について、整備手法を設計・施工一括発注方式（デザインビルド方式）とし、令和9年度末までの供用開始を目指して整備事業を進めています。来年度（令和7年度）に予定している「滋賀県衛生科学センター整備設計・施工業務」の入札公告を前に、参加意欲の把握や選定条件、事業に対するアイデア等の御意見・御提案等を募集するために、実施要領を公表してサウンディング型市場調査を実施し、アンケートによるヒアリングおよび個別に対話を行いましたので、その結果概要と今後に向けた検討状況を公表いたします。

2 実施日程

実施要領の公表	令和6年10月3日（木）
問合せフォーム申込	令和6年10月15日（火）正午まで
アンケートフォームの提出	令和6年10月18日（金）15時まで
個別ヒアリングの実施	令和6年10月21日（月）から 令和6年11月1日（金）

3 参加事業者について

（1）参加者数：11者

（2）参加者の本事業における役割と11者の内訳

設計を担う法人	5者（うち県内法人0者）
施工を担う法人	6者（うち県内法人3者）
合計	11者（うち県内法人3者）

4 本事業への参加意欲について

（1）本事業への参加意欲

大いにある	6者（うち、滋賀県内の法人3者）
参加条件による	3者（うち、滋賀県内の法人0者）
参加は困難・判断しかねる	2者（うち、滋賀県内の法人0者）

（2）「参加条件による」の回答理由

- ・単独での参加は厳しい。
- ・価格競争力のある施工者とのJV組成ができれば参加する。
- ・DB方式での入札不調が目立っており、従来方式での発注も検討いただきたい。
- ・経審点数、配置技術者、予算による。

（3）「参加は困難・判断しかねる」の回答理由

- ・現段階では手持ち案件、配置技術者の配置を勘案すると参加は困難。
- ・人員の確保状況によるため判断しかねる。

5 整備事業計画に対する主な意見

(1) 整備スケジュールについて

①発注時期および提案期間について

- ・特に問題はない。
- ・発注時期については問題ないが、提案期間を3か月程度としてほしい。
- ・4～5カ月の提案期間があった方がよい。

②工事時期および設計・工事期間について

- ・特に問題はない。
- ・働き方の改革の影響で工期は延びる可能性が高い。
- ・繁忙期であるため、他工事の受注状況により工期が変更する可能性がある。
- ・RC造の場合、工期を延ばしてほしい。

(2) 整備費用について

- ・物価高騰を考慮してほしい。
- ・設備業者の需給逼迫による人件費等の高騰を考慮してほしい。

(3) 県産材・県産品の利用について

- ・内装の木質化は採点の差がつかないのではないかな。
- ・県産材については、内装で活用可能、構造体には活用不可。

(4) 入札条件について

- ・研究や検査の什器備品は本工事とは別にしてほしい。
- ・県内事業者が参加できる施工実績条件を希望する。
- ・従前の関係者が有利にならない等、適正な競争環境を整えてほしい。
- ・滋賀県発注の設計業務実績の条件外を希望。

(5) その他

- ・計画予定敷地に工事ヤードや採掘残土の置き場が無い。

6 今後に向けた検討状況

今回のヒアリングおよび対話の結果を踏まえ、公募手続きに向けて以下のとおり進めてまいります。

- ・整備手法については、受注者独自の技術や工法を活用できるなど、コスト削減や品質向上、工期短縮といった余地が多いことからDB方式を選択する。
- ・事業者公募の実施にあたっては、単体企業のみならず、特定JVもしくは単体企業または特定JVと設計企業のグループを参加可能として検討を進める。
- ・公告は令和7年4月末を目途に検討を進める。
- ・提案期間については、令和7年4月末～令和7年8月下旬の4か月程度として検討を進める。
- ・落札者の決定は令和7年9月を目途に検討を進める。
- ・契約は令和8年1月締結を目途に検討を進める。
- ・設計期間は令和8年1月上旬～令和8年11月下旬の11か月程度として検討を進める。
- ・建設工事期間は令和8年12月～令和10年1月の14か月程度として検討を進める。
- ・本業務内容は、設計業務（事前調査業務を含む）、建設業務、工事監理業務、その他関連業務、とすることで検討を進める。
- ・研究や検査の什器備品については、本業務とは別に発注することで検討を進める。